



ひよこぐみだより



2022年2月1日

尚徳福祉会 松が丘保育園

早いものでもう2月、寒さが続いています。元気に登園している子どもたち。お休みする日が少なくなったことは、免疫力や身体の成長だと実感しているご家庭も多いと思います。入園時には、お休みや急なお迎えがたくさんありますよ～という話をしたのが懐かしいくらいです。1月には、雪が降った光景を窓から不思議そうに見ながら指差しをし、洗面器に入れた雪を指先でツツツしながら慎重に触る経験をしました。

「パパ・ママ」「～だい(ちょうだいの語尾)」等の言葉や、ヤダよ、いいよなどの要求をしたくて、首を振ったりうなずいたり手の動作があったりと、やりとりができることも増えてきました。また、大人の表情を汲み取る力もついてきています。ごまかしがどんどん効かなくなって大人が試される状況が出てくるのも間近ですね！



<今月の予定>

- 1日(火) 乳児身体計測
- 8日(火) ひよこ組保護者会
- 10日(木) 0歳児健診
- 24日(木) 0歳児健診
- 25日(金) 避難訓練



●2月のねらい●

- ・ゆったり関わってもらいながら、安心して過ごす。
- ・指差しなどで保育者とのやりとりを楽しむ。



保育園のノートで、「指先の遊びをしました」「手先の遊びに夢中でした」という文章を目にするとおもいます。手を使う遊びは全て指も使うのですが、発達に合わせながら玩具を出して興味やちょっとできないけど遊んでいるうちにできた！という感覚が引き出せるようにしてきました。プラスチック容器に穴を開けて遊具を押し込んで入れられるようにしたり、あえてチャックのある手提げバックやポーチを用意したり、蓋付き容器があったり・・・はじめは、やってやってと持ってきていましたが、今では自分の力での最大を発揮、苦戦している姿がよく見られるようになりました。投げたり、踏んだりする工夫も(笑)保育者は、ちょっと手伝う、手伝いたい気持ちを我慢、見守る、出来ていたことだけど、甘えたい気持ちであることを受け止めて、手伝う等その時々で判断しながら成長につながるようにと、指先遊び一つでも大きな深い意味が秘められているのです。節分の鬼のバック作りでは、絵の具のねっとりとした触り心地や色が混ざっていく興味が味わえたと思います。手に色がつかない?!なんで??ということに気付いた子もいました。

